

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和8年度

第1回算数・数学科授業研究会

- 日 時：令和8年6月18日（木）13：10～16：30
- 会 場：南相馬市立原町第三小学校（南相馬市原町区上町一丁目13番地）
- 参加者：小学校教員12名、中学校教員7名 計19名
- 内 容：○算数・数学科イノベーション人材育成推進教員による公開授業
「100より大きい数」授業者 南相馬市立原町第三小学校 教諭 鈴木 孝成
○グループ別による事後協議会
○講演・指導助言「算数の授業における児童と教師の取り組みに学ぶ」
福島大学人間発達文化学類 教授 森本 明 様

【研修のまとめ】

事後研究会では、参観者のみなさんが授業者の思いに寄り添い、授業者の努力や実践のよさを進んで見つけたり、自分事として授業を捉え授業改善に向けた建設的なアイデアを伝えたりしていたことが、授業者と参観者の両者にとって大変有意義な時間となりました。今後も、各校の事後協議会においては、授業者の思いや願いを大切にしながら、参観者を含めた授業改善の質の向上を模索していただきたいと思います。

【授業のポイント】

○単元で大切にしたい学び方を日々鍛えており、複数の数学的な表現を児童の思考に沿って関連付けていた。

【指導助言】

○学習活動を「学習者（子ども）による主体的な意味付け」と捉え直すとともに、子どもの理解状況をどのように見取り、解釈するのかを重視していく必要がある。

研修の感想

- どんどん前に出てみんなに説明する児童の姿をはじめ、学びに必要な学習規律が身に付いていた。教師は、児童の発言を拾って授業を進めていた。
- 「まとまり」というキーワードを可視化するための手立てや、位取り表で表現することのよさを学ばせていただいた。
- 1つの授業の中で、図やブロックなどの半具体物を子どもたちがおさえて学び使っていること、曖昧になりがちな表現を具体的に使っていることがよかった。
- 自由に考えることや伝え合うこと、自分なりの方法で表現することなど、子どもたちの学ぶ力を支援していくことができるような授業を心がけていきたい。
- 「見通し」と「予想」が子どもたちの中で明確に考えられる授業を展開したい。

